

◆令和2年12月定例会

○新議長に岩城 晶巳氏

○令和2年度一般会計補正予算(第5号)

(7億2,940万8千円)

ほか人事案件を含む市長提出議案16議案を可決または同意

○審査請求に関する諮問について棄却すべきと答申

新議長あいさつ

このたび、議員各位の投票によりまして議長職に当選させていただきました。

議員の任期もあと1年を切っている中で、交代ということでありながら、残り1年、皆様方の協力を得ながら、全身全霊をもって、市民の皆様への安心・安全のために、一生懸命頑張らせていただきます。よろしくお願いたします。



岩城議長

12月定例会

本会議

◇12月7日に本会議を開き、まず会

期を決めた後に、原議長から辞職願が提出されたため、議長の選挙を行い、選挙の結果、岩城晶巳議員が議長に選出されました。新議長の選出に伴い、議会運営委員会委員の選任、

公共施設マネジメント特別委員会委員長の互選、広報広聴委員会の委員の委嘱、富山地区広域圏事務組合議員・滑川中新川地区広域情報事務組合議員・富山県東部消防組合議会議員の補欠選挙を行いました。

引き続き、令和2年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案14件及び諮問1件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補正説明がありました。

◇14日、15日は代表質問及び一般質問が行われ、10名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案及び諮問1件を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の21日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。市長提出議案14件及び諮問1件は一括して採決され、各常任委員長は報告のとおり、賛成全員で可決または審査請求について棄却すべきと答申することとされました。

その後、市長から人事案件として、滑川市公平委員会の委員に高橋眞琴氏(柳原)、滑川市固定資産評価審査委員会の委員に小善清範氏(大掛)の選任が追加提案され、同意といたしました。

最後に閉会中の継続審査を決定して、12月定例会を閉会としました。なお、議長交代に伴う各委員会の委員の変更等については以下のとおりです。

◎委員長 ○副委員長

◆議会運営委員会

◎中川 勲 ○開田 晃江

青山 幸生 原 明

古沢 利之 浦田 竹昭

◆広報広聴委員会

◎竹原 正人 ○尾崎 照雄
原 明 古沢 利之
開田 晃江 高橋 久光

◆滑川市公共施設マネジメント特別委員会

◎原 明 ○古沢 利之
大浦 豊貴 脇坂 章夫
青山 幸生 角川 真人
竹原 正人 尾崎 照雄
岩城 晶巳 浦田 竹昭
開田 晃江 中川 勲
高橋 久光

◇各組合議会議員

・富山地区広域圏事務組合
岩城 晶巳 中川 勲
・滑川中新川地区
広域情報事務組合
尾崎 照雄 原 明
古沢 利之 浦田 竹昭
・富山県東部消防組合
青山 幸生 岩城 晶巳
高橋 久光

ポイント

★諮問

ある事項について、意思決定を行うに際し、他の機関に対して、法令上定められた事項について意見を聞くことを言い、諮問に依りて、出す意見のことを「答申」と言います。

地方自治法では、市長に対し審査請求や異議申立て等があった際に、裁決、決定をするに当たって、議会に諮問しなければならぬ事項を定めており、該当する場合は、議会は、市の諮問に対し答申することとなります。

常任委員会での審査
(主な質疑等)
各常任委員会等への付託案件はP13をご覧ください。

総務文教消防委員会の慎重審査の結果、付託された6議案及び諮問第1号については、賛成全員で原案のとおり可決または審査

慎重審査の結果、付託された6議案及び諮問第1号については、賛成全員で原案のとおり可決または審査

請求について棄却すべきであると答申すべきものと決定いたしました。

☆令和2年度滑川市一般会計補正予算(第5号)について

問 浜加積地区公民館整備費で200万円
の補正とあるが、規模等はどのように変わるのか。

答 (石川副市長) 当初は、福祉センターを多目的ホールを中心として、公民館にくっつけて建てようと設計をしていたが、公民館の外壁や屋根の雨漏りの改修に多額の費用がかかることから、公民館と福祉センターの機能をあわせて、建築するため追加補正を計上している。木造平屋建てで、建築場所は現在の公民館があるところを中心に建てたいと考えている。

問 市内どの公民館も共通して使い勝手が悪いということになってい
ると思うので今後考えていただきたい。

答 (上田市長) 浜加積は特別に使い勝手が悪いということで、長い間全面改修を含めて地元から要望があった。他の公民館ではそのような問題

は少ないと思う。

問 債務負担行為の積算の根拠は。

答 過去の実績、新たに発生するであろう費用、各施設を管理している企業から出てきた申請書の内容を加味して債務負担行為の額を決定している。

☆諮問第1号について

問 諮問に至るまでの説明等のプロセスについて伺う。

答 町内会で説明会を開き、受益者負担金の減免等について説明を行った。昨年、下水道の整備を終え、通常、使用者である町内会で支払っていることから、町内会長に納付書等を送付した。その後、町内会長から審査請求がされたところである。



浜加積地区公民館

産業厚生建設委員会

付託された9議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

☆令和2年度滑川市一般会計補正予算(第5号)について

問 感染症予防対策費について、PCR検査の補助対象はどのような方を想定しているのか。

答 対象の要件として、各都道府県の新型コロナウイルス感染拡大警報が発令中の地域を往来した本人、またはその地域の在住者と接触したため、不安があるという方のうち、65歳以上の高齢者と、基礎疾患を有する方として身体障害者手帳1級(内部機能障害)を取得されている方を対象としている。

問 介護職、看護職は対象としないのか。

答 富山県のコロナウイルス感染症緊急包括支援事業という補助事業があるので、そちらを活用していただきたい。

第4回臨時会

令和2年第4回市議会臨時会は、会期を11月27日の1日間と決め、後に、議案第70号「滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について」の市長提案議案1件が上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の総務文教消防委員会へ付託しました。

その後、本会議を開き、総務文教消防委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、委員長の報告のとおり、賛成全員で可決され、第4回臨時会を閉会としました。

総務文教消防委員会での主な質疑

問 会計年度任用職員の勤労意欲に影響は出ないか。

答 制度設計上避けられないものである。

問 一般職員の減額総額はいくらになるのか。

答 213人で304万円で、1人あたり1万5千円程度である。

2年11月 日誌

6日	上市町議会との親善交流会 富山地区広域圏事務組合 議会議員協議会、定例会 (立山町)
10日	議会運営委員会 定例議員協議会 公共施設マネジメント 特別委員会協議会 産業厚生建設委員会協議会 議会運営委員会
19日	朝日滑川間国道・バイパス 建設促進期成同盟会要望 (新潟県・東京都)
24日	全員協議会 第4回臨時会
27日	総務文教消防委員会協議会 産業厚生建設委員会協議会 議会運営委員会
30日	議会運営委員会
12月	定例議員協議会
2日	12月定例会
7日	議会報編集委員会
21日	富山県東部消防組合議会 議員協議会・全員協議会・ 本会議(魚津市)

3年1月

8日	議会運営委員会協議会 産業厚生建設委員会協議会 定例議員協議会 議会報編集委員会 議会報編集委員会
15日	滑川中新川地区広域情報 事務組合臨時会

代表質問

12月定例会では10名の議員が質問を行い、42項目について市当局の見解を求めました。
質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

(すべての質問等詳細を記録した会議録は、3月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です)のでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、ご利用ください。
※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。



代表質問



- 1 2021年度予算編成について
- 2 新型コロナウイルス感染防止対策について
- 3 観光対策について

（会派＝会派自民） 中川 勲 議員



Q 来年度の最重要事業は何をされるのか、また新規事業はあるのか。

A 上田市長 新年度予算編成においては、歳入面では新型コロナウイルス感染症の影響により、地方税をはじめ普通交付税などの減少は避けられない。歳出面では、社会福祉費や児童福祉費などの社会保障関係費が増加の一途をたどり、厳しい予算編成になる。最重要事業や新規事業は、予算編成の中で吟味し、新型コロナウイルス対策、新しい総合計画に相応し、各種施策の実現に取り組む。新規事業としては、中滑川駅前開発、浜加積公民館改築、安全・安心の面では、道路、歩道についての事業も展開する。

Q 来シーズンのほたるいか海上観光はキラリン1隻のみで行うのか。

A 石川副市長 来シーズンのほたるいか海上観光は、令和3年4月1日から5月9日までの39日間の運航を予定している。PRについては、市及び運航会社ウェーブ滑川、観光協会のホームページやチラシの配布、ポスターの掲示、SNS等を利用しPRする。また、

今年乗船できなかった予約の方に、ホテル・旅館から個別に案内する。

Q 富山湾岸クルージングは例年どおり行うのか。

A 石川副市長 来シーズンは、令和3年4月16日から11月28日の期間、新型コロナウイルス感染症対策を行って実施する予定。

Q 東加積小学校の小規模特認校制度とはどのような学校になるのか。

A 伊東教育長 特認校制度は、従来の通学区域は残したまま、通学区域に関係なく、市内どこからでも通学を認めるもので、地域と連携した教育活動を推進し学校の活性化を図ることを目的とする。

Q 高齢者や基礎疾患がある人が、新型コロナウイルスに感染すると重症化する危険性があるが対応は。

A 藤田産業民生部理事 無症状で重症化リスクが高い65歳以上の高齢者及び基礎疾患を有する方で感染不安がある希望者を対象にPCR検査を受けられる体制を整備する。令和3年1月4日から3月31日までの期間とし、厚生連滑川病院と内田内科において、2万5千円の検査料のうち、自己負担金5千円、2万円を1人1回限り助成。

Q クラスターが発生すれば重大なことになる高齢者施設等での定期的なPCR検査を検討できないか。

A 藤田産業民生部理事 厚生センターによる行政検査が行われない高齢者施設での検査は、自費で実施した場合、県の補助対象となり、この制度の活用で対応していく。

Q 医療機関、介護施設の従事者への直接支援は、春に慰労金として対応したが、追加支援は検討できないか。

A 藤田産業民生部理事 各施設の経営状況は依然と厳しい状況にあると伺っている。どのような追加支援が必要か、各施設と意見交換して、可能な限り支援に努めたい。

Q 春の学校一斉休校の際も、保育園、学童保育などは全面休園ではなかった。処遇は改善されてしかるべきではなかったか。

A 上田教育委員会事務局長 国の交付金等を活用し、マスクなどの消耗品、空気清浄器などの備品整備、感染対策の経費の補助や支援をしている。

Q 環境支援は当然だ。直接支援は考えられないか。

A 上田教育委員会事務局長 人的な部分については、今後、国、県の状況も見ながら研究していかなければならないと感じている。

Q 昨年3月に用水事故について質問した。先日も死亡事故の報道があった。昨年答弁後の事故についてどう把握しているか。

A 岩城建設部長 令和元年度に県内の農業用水で発生した死亡事故は、県のまとめでは13件である。市内では元年度から先日の事故まで1件である。転落事故の件数は消防によれば10件と聞いている。

Q 昨年12月、県は用水事故安全対策ガイドラインを策定している。これに基づいて、何か検討してきたのか、今後どう対応するのか。

A 岩城建設部長 ガイドラインでは施設管理者、県、市町村、関係団体、地域組織などとの連携が必要とされた。この間、中部土地改良区の野町地区、南部土地改良区の赤浜地区で合同点検を実施し、整備手法について協議を行った。今後も関係機関と連携強化を図り、ガイドラインで示されている安全対策に努めたい。

Q 高齢化に伴う事故も指摘されている。注意喚起もしてもらいたい。

A 岩城建設部長 これまで以上に市民へ周知を図るとともに、ガイドラインに従った対策を関係機関と連携して対応していきたい。

その他の質問
・農業政策について
・教員の負担軽減について

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



- 1 新型コロナウイルス感染対策について
- 2 用水事故対策について

（会派＝日本共産党議員団） 古沢利之 議員



Q 昨年3月に用水事故について質問した。先日も死亡事故の報道があった。昨年答弁後の事故についてどう把握しているか。

A 岩城建設部長 令和元年度に県内の農業用水で発生した死亡事故は、県のまとめでは13件である。市内では元年度から先日の事故まで1件である。転落事故の件数は消防によれば10件と聞いている。

Q 昨年12月、県は用水事故安全対策ガイドラインを策定している。これに基づいて、何か検討してきたのか、今後どう対応するのか。

A 岩城建設部長 ガイドラインでは施設管理者、県、市町村、関係団体、地域組織などとの連携が必要とされた。この間、中部土地改良区の野町地区、南部土地改良区の赤浜地区で合同点検を実施し、整備手法について協議を行った。今後も関係機関と連携強化を図り、ガイドラインで示されている安全対策に努めたい。

Q 高齢化に伴う事故も指摘されている。注意喚起もしてもらいたい。

A 岩城建設部長 これまで以上に市民へ周知を図るとともに、ガイドラインに従った対策を関係機関と連携して対応していきたい。

その他の質問
・農業政策について
・教員の負担軽減について

一般質問



1 通学路について
2 滑川市個別施設計画について
3 海岸ゴミについて

青山 幸 生 議員



Q 市内道路等の合同点検の進捗及び改善状況は。

A 広田学務課長

平成27年度に国の事業で合同点検を実施して以降、毎年実施し、点検内容及び対策メニューを市のホームページで公表している。危険箇所については、横断歩道のカラー舗装や地下道における防犯カメラの設置などの具体的な対策をしている。

Q あんぜんmyマップを保護者に周知し、危険箇所を把握できないか。

A 広田学務課長

これまで、学校によっては安全マップを作る際に、保護者の方が現地では危険箇所を撮影された写真を添付ファイルにして地図にしたという事例も聞いている。クラウドを活用し、情報を取り取りしている時代なので、その一つとして検討したい。

Q 管理計画は計画期間を令和12年とし、概算対策費用は4億3千429万円と見込んでいます。どのように見積りしたのか。

A 奥村財政課主幹

市が有する118の施設について、180の建物ごとに、屋根、外壁、内部仕上げ、電気設

備、機械設備の5つの部位に分けて、簡易劣化診断を行った。屋根や外壁の舗装修繕については、さび落とし作業に加えて塗装費用、足場費用なども含めた積み上げとなっている。

Q 公共施設の維持班をつくれな

A 川岸営繕課長

公共施設の維持の設置については、今後の施設の維持管理を行っていく上で必要な手だての一つとして考えており、施設の老朽化の進行状況や将来的な修繕費用の縮減等を総合的に勘案し、小修繕などを行う職員の配置などについて今後検討したい。

Q 令和元年12月定例会では海岸にごみボックスの設置を提案した、設置をして大々的に環境に関する式典を催せないか。

A 石坂生活環境課主幹

海岸漂着物については不法投棄に対する啓発活動の取り組みが有効手段であると考える。ごみボックスの設置がより有効な手段となると考えており、設置する際には、啓発活動の一環として広く周知することを検討したい。

一般質問



1 介護報酬改定により予想される問題について
2 コロナ禍において医療崩壊を起ささないための手立てを
3 市道滑川駅前区画25号線について

角川 真人 議員



Q 社会保障審議会で、能力に応じた負担を利用者に求め、補足給付の細分化が検討されている。今の案が通ると、年金収入が120万円で預金がない人にも適用され、月2万2千円もの負担が増える恐れがある。現在滑川市内にある特養、老健施設の利用者にどのくらい該当する見込みになるのか。

A 石川福祉介護課長

現時点で補足給付の細分化は決定されていないが、仮に実施された場合、約80人と見込んでいる。

Q これまで補足給付のおかげで施設を利用できていた場合、負担が2万円も増えることにより施設から退所するといったことも考えられる。滑川市独自の手立てとして、これまで通りの基準での補足給付を維持するような補助を、今から検討してはどうか。

A 石川福祉介護課長

決定されていないものなので、現段階では補助については考えていない。

Q 滑川市内にある医療機関、現在の運営状況はどのような様子なのか。

A 石川市民課長

6、7月頃には受診者数が持ち直す傾向にありそ

れなりに持ち直しがあつたが、第3波の報道がされてから再び減少状況となり、依然として厳しい状況にあると聞いている。

Q 地域の医療崩壊を防ぐために、唯一の公的病院である厚生連滑川病院を特に下支えする必要があるのでないか。財政調整基金などを活用し、例年通りの支援でなく、コロナ対策のための大きめの支援を考えてはどうか。

A 石川市民課長

病院側で求めていること、実施していきたいと考えていることなど意見交換をしながら、できることを精いっぱいやっていきたいと考えている。引き続き可能な限りの支援に努めたい。

Q はまなす公園から堤防沿いにある市道だが、道路に亀裂やアスファルトの剥離があちこちに見られる。花火大会には市民が大勢集まる。見栄えが悪くない程度に直してはどうか。

A 北島建設課主幹

現状を確認したところ、経年劣化によるひび割れや舗装の剥離が見られる箇所が多数あつた。利用者の安全のため、補修や整備を検討したい。

一般質問



4 3 2 1

千鳥スキー場の土砂搬入の目的、事業名、並びに設計書、完成図等の有無、そして施工完了予定について問う。

浦田 竹昭 議員



Q 千鳥スキー場の土砂搬入の目的、事業名、並びに設計書、完成図等の有無、そして施工完了予定について問う。

A 長瀬上下水道課長 個別に事業立てして実施しているものではなく、公共工事発生土砂の有効活用で設計書等の作成はなく、完了予定は、令和5年度頃と考えている。

Q 集中豪雨等災害時対策としての、土砂崩壊防止柵、土砂流失防護壁の設置予定、また法面保護の防草シート敷設、法面植生の施工予定について問う。

A 長瀬上下水道課長 斜面下側に土砂流失防止用ポケット、途中に土堰堤等を設置し、整形後は、自然植生で安定すると考えている。

Q 厚生連滑川病院の分娩休止に至る経緯について問う。

A 石川市民課長 産科医が体調を崩されて、分娩は4月中旬を最後に行われていないと伺っている。

Q 少子化対策、並びに妊娠から出産・育児までの一連の子育てへの、分娩休止の影響について問う。

A 石川市民課長 一つの要因ではあるが、市の取組が覆るほどの影響があるとは認識していない。

Q 分娩、出産の拠点として市の更なる助成・援助・支援による医師人材の確保の再考について問う。

A 石川市民課長 再考について医師3人体制維持確保の見通しが立っていない状況である。

A 上田市長 産後も分娩したところへ通うための交通費等援助を検討している。

Q 中山間地域のレジャー施設並びに自然環境等資源を活用した観光振興、並びに産業振興と定住促進への支援施策について問う。

A 上田教育委員会事務局長 観光振興について、関係各課とも協議、検討してまいりたい。

A 上田市長 学校から開の道路を広げると提案をいただいている、これも一つだと思っているので、これには一応かかる。

Q 犯罪被害者等の権利利益保護を図るための、被害者支援条例の制定、並びに支援施策の推進について問う。

A 石坂生活環境課主幹 条例よりも犯罪の起きない体制づくりが必要だと認識している。また支援について、国の支援制度を利用されるよう利用方法を広く周知する。

一般質問



5 4 3 2 1

プレミアム付商品券発行事業は前回7月発行の販売実績と利用実績を踏まえての判断なのか。

竹原 正人 議員



Q 今回のプレミアム付商品券発行事業は前回7月発行の販売実績と利用実績を踏まえての判断なのか。

A 長崎商工水産課長 今回発行分は、12月26日土曜日からの販売を予定している。発行総額が2億4千万円、前回の1.6倍の発行額となっている。年末年始及び年度末の消費活動の多い時期に合わせ、地域経済のさらなる活性化を図るため、前回の実績を踏まえ追加発行する。

Q ケーブルテレビのFTTH化整備について、各家庭への引込み等計画はどうなっているのか。

A 相沢企画政策課主幹 Net3のFTTH化整備は、局舎や送受信の設備、伝送路などの整備を令和3年度末に終え、令和4年4月からの新サービスの提供開始を見込んでいます。各家庭への引込みは、令和3年度末から順次行い、既存の契約者の新サービスへの移行を、インターネット利用者は令和7年度末までに、またテレビの利用者は令和8年度末までに終える計画としています。

Q ほたるいか海上観光の来シーズンはキラリン1隻での実施と発表された。県外観光客が多く占めるこの事業を進める根拠は。

A 網谷産業民生部長 例年、乗船者の8割以上が県外からの観光客である。世界中から観光客を集める本市における最も重要な観光資源の一つであることから、コロナ終息後を見据え、継続してホテルイカのみならず滑川を全国にPRし、大勢の観光客に本市を訪れてもらうためできる限り実施したい。

Q 今冬の道路除排雪について、本当に機動的で効率的な除雪計画なのか。

A 岩城建設部長 今年も昨年同様に近隣の市町との連絡、物資の輸送及び市民生活の安定を図る上で重要な路線を中心として除雪することとしており、気象情報を基に出動基準に従い、3班集体でパトロールや除雪作業を実施する。

Q 土曜授業の日程を活用して、外部講師等に端末を使った応用学習などを進めてはどうか。

A 広田学務課長 県から配置される情報教育特別非常勤講師や地域ICTクラブなどの外部講師も活用し、さらなるICT活用能力の向上に努めてまいりたい。

一般質問



1 上田市長の今後の考えについて
2 市議会議員選挙と市長選挙の
同時選挙について

大浦 豊 貴 議員



Q 上田市長の任期終了も迫る中、市民の来期に対する考えに關心が高まっている。進退表明の有無、時期等に対し現在の考えはどうか。

A 上田市長 今の時点では、市民の評価は市民にお任せするしかない。私には辞める理由が見つからない。つまり、継承される方がどういう方かを見極めなければ安心してお渡しすることはできないわけで、そうなれば当然選挙になると思うっており、みんなが認めるような方が出られれば私は一緒に応援に回りたい気持ちも持っている。ですが、一般に出られる方であれば選挙は必ずあると思うって下さい。新しい方がマニフェストで自己表明し頑張ってくれるように、無競争になり分らないまま出発してもらっては困る。

Q 本市は市議会議員と市長の任期満了の日の間隔に87日のずれがあり、短期間のうちに複数回の選挙を行うことは、非効率と考える。市議会議員選挙と市長選挙の同時選挙が実施されれば、投票率の向上による市政への民意の反映、市民の利便性向上、効率的な選挙執行等のメリットに対する見解はどうか。

A 伊井監査委員事務局長 投票される方の利便性向上、同時選挙の相乗効果による投票率の向上、投票事務の負担軽減及び重複する経費約600万円の節減が見込まれる。
Q 現行の法の規制の中で同時選挙を可能とする見解を問う。
A 伊井監査委員事務局長 法令上、可能だが、デメリットを考慮した場合、実施は難しい。

Q 市長と語る会においても、同時選挙に対する提言が出ているが、これからの行財政の不透明な点や当初予算へスムーズに市政へ民意を反映していくことが重要と考えるが、市長の考えはどうか。

A 上田市長 滑川市も同一地方選挙の流れがあった中で、滑川市長選挙は、宮崎市長がお亡くなりになったことにより早まり、2月選挙になっていくわけだが、本来であれば正規であるもとの時期のほうがよかつたと思う。できれば交代する時期は8・9月頃が妥当かという感覚でいるが、それ以上は今の時点では申し上げられない。物議を醸す原因はつくれない。原則論にとどめさせてもらいたい。

一般質問



1 環境管理について
2 健康次総画について
3 第5次総合計画の中から
道徳教育について

開田 晃 江 議員



Q 滑川市通学路安全合同点検には、町内会長や保護者などは立ち会わないのか。

A 広田学務課長 合同点検の体制については、学校、保護者、道路管理者、警察、自治会などが参加するとしてあり、今後、合同点検の体制を再度確認し、連絡経路等についても検討していきたい。

Q あずま保育所遊戯室の空調設備で、暑さ対策ができていない。熱中症予防の意識などの考えは。

A 落合子ども課長 空調設備は不可欠と考える。遊戯室も、早急に整備していきたい。

Q コロナ禍の中での成人式について、ホール1階に成人者が並ぶと考えるが、密にならないだろうか。午前と午後に分けて中学校単位で分けて行えばどうか。

A 地崎生涯学習課長 実は、中学校単位で行うことも検討したが、いろいろ不公平感や不都合な点も想定され、例年どおり1回とし、人数を制限することで密を防ぎ実施するとした。

Q コロナ禍の中で胃カメラの受付が大変少ないと思うがどうか。
A 結城市民健康センター所長 10月

未現在、検査件数は1千172件で、昨年比べ511件、30・4ポイント減少している。

Q 婦人科の検診が非常に受診しにくい。胃カメラと、子宮がん、乳がんを富山県健康増進センターで受診できるように契約はできないか。

A 結城市民健康センター所長 現在、子宮がんや乳がんの無料クーポン券、それと、胃、大腸、肺の無料クーポン券の対象者のみとしているが、それ以外の単独がん検診でどれだけ受入れが可能か調査して検討していきたい。また、検診については、市と医師会の先生方との連携、協力で成り立っているのので、先生方の意見を伺いながら努めていきたい。

Q 道徳教育の強化や望ましい人間関係の醸成の中で、人を大切に思う気持ちをどこからつくり出そうと考えているか。

A 広田学務課長 教師の言動や価値観が児童・生徒に影響を及ぼすこともあり、県が開催する学校力ウンセリング講座に参加し、教師としての自分の在り方を見詰め直す機会としている。

一般質問



1 教育について
2 防災について
3 まちづくりについて
4 環境について

尾崎 照雄 議員



Q GIGAスクール構想において、現場の負担を減らし、デジタル機器を活用し続けるためにICTサポーターを充実させるべく多くの雇用を推進してはどうか。

A 広田学務課長 ICTコーディネーターは段階的に対応を計画的に進めていきたい。

Q 住宅用火災警報器の更新が必要な家庭には、一酸化炭素も検出できる複合型警報器を推奨すべきと考えるが、見解を問う。

A 按田消防署長 火災や換気不備による一酸化炭素中毒は最も危険なため、今後は一酸化炭素検知複合型もPRしてまいりたい。

Q 防災情報の発信にLINEを活用してはどうか。滑川市公式LINEアカウントを作成して市民に登録してもらうことで様々な情報発信、情報共有ができる極めて有効な手段と考えるが見解は。

A 櫻井総務課主幹 LINEの導入については、防災情報のみならず、市全体の行政情報の発信手段としての活用も含めて、既にLINEを導入している自治体の先進事例等もみながら、庁内全体で検

討してまいりたい。

Q まちなか再生事業の市街地空き地空き家活用支援事業の対象業種が小売業と飲食業となっており、創設から12年を経過した今、対象業種を広げるべく見直すべきではないか。

A 長崎商工水産課長 現在は、事業創設時にくらべて社会情勢も変化していることから、今後、市街地の空き地・空き家の解消や更なるにぎわいの創出のため、対象業種の拡大も含めた見直しについて検討してまいりたい。

Q 環境省が地球温暖化対策推進法を改正し2050年温室効果ガス排出ゼロの数値目標を条文に明記する方針が固まった。第3次滑川市地球温暖化対策実行計画の策定中であると思うが、国の目指す脱炭素社会に沿ったものになるのか。

A 石坂生活環境課主幹 現在次期計画の内容を精査中であり、効果的な取組を実行計画に盛り込みたいと考えている。今後、国を挙げて脱炭素社会に沿った取組が進められていくことから、本市においても、国に歩調を合わせた取り組みを推進してまいりたい。

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、3月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

一般質問



1 東加積小学校の小規模特認校制度について
2 新型コロナウイルス感染について
3 フードドライブについて
4 富山県知事選挙について

脇坂 章夫 議員



Q 東加積小学校の小規模特認校制度導入への経緯は。

A 広田学務課長 東加積小学校は児童数の減少から、複式学級の解消要望書が、自治会連合会、PTAから提出された。今後の児童数の推移や県の複式学級の編成基準を勘案し導入を検討した。総合教育会議に導入を報告し教育委員会で承認され、総務文教消防委員会に制度の導入を報告した。10月17日、東加積小学校において保護者に説明会を開催した。広報に掲載小学校のホームページへ掲載により、小規模特認校の周知をした。

Q 東加積地区での説明会の予定は。

A 広田学務課長 今後、学校と地域が集まる機会を利用して、理解と協力を求めたい。

Q 新型コロナウイルス対策は。

A 結城市民健康センター所長 年末年始による人の移動や飲酒や会食が増える予想される。予防対策として感染を拡大させないための留意点の啓発チラシを配布する。

Q フードドライブについて、現在の提供物資の状況は。

A 石川福祉介護課長 11月末現在で、お米300キロ、缶詰、レトルト

食品など714点の温かい寄附があり、生活に困窮している方、9名5団体に渡した。大変好評であり、ニーズがある限り続ける。寄附を受けた方から、温かい気持ちになった、とても助かったといったほとんど感謝の声であった。

Q 富山県知事選挙で6月上田市長は新田八朗氏への支持を発表された。新田氏支持への即断即決は。

A 上田市長 一有権者として、新田氏個人を信頼できる人、人物評価の上、県民の一人として、純粋な気持ちで支援をした。石井知事になるが、16年間支援をしてきた一つの節目として交代時期ではないかと感じている。具体的に一番私が困ったのは年に1回の要望、知事の滑川の要望を聞く時間の指定、要望は40項目。絞ってこいといわれ3項目に絞り話は聞かれたが、聞くだけの感じで、誠意のある答えは出ない。ここ2、3年続けて最後まで親しく話を聞いてくれない、今年も5分遅れてきた上に、15分の予定が10分で打ち切り市町村の言うこと、要望をしつかり聞けない知事は要らない。市町村あつての県庁だと思っている。

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、3月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

**第29回子どもサミット
が議場で開催されました**

12月25日（金）に第29回子どもサミットがはじめて議場で開催されました。

これまででは、来賓や見学者が多かったため、滑川市西地区コミュニティホールで開催されていましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、来賓や見学者の人数を減らしたこと、議場の放送設備を利用して、ケーブルテレビでの生中継ができること、議会からもぜひ議場で開催して欲しいと要望していたことから、今回、議場での開催となりました。

過去には、事前研修会として、参加する子どもたちに議場を見学してもらう機会もありましたが、実際に議場を使つてのサミット開催はありませんでした。今回の子どもサミットは「つくろう みんなが元気で輝くまち 滑川 ～新しい生活様式の中で自分たちができることを考えよう～」
「新しい生活様式の中で自分たち

ちができることを考えよう！」をテーマに各小中学校の代表19名が各学校の取組やその取組に対する意見等を出し合いました。



開会のことば（北加積小6年 廣田大輔さん）



岩城議長あいさつ

会議は、早月中学校2年小幡明日奏さんの進行のもと、北加積小学校6年廣田大輔さんの開会の言葉で始まり、その後上田市長、岩城議長からのあいさつがありました。参加者の自己紹介の後、早月中学校2年北野由芽華さんに司会者が交代し、「新しい生活様式の中、学校における悩みや工夫」、「新型コロナウイルス感染症対策の中で、学んだことや成長したこと」について、発表や意見交換を行いました。



全体進行（早月中2年 小幡明日奏さん）

最後に上田市長からサミットについての意見・感想があり、滑川中学校2年高柳明奈さんの閉会の言葉で会議を終了しました。



会議進行（早月中2年 北野由芽華さん）



閉会のことば（滑川中2年 高柳明奈さん）

議場でのサミットの感想

- ・コロナの中でみんなが今までどおりの生活が送られてないけど、サミットで話し合ったいろいろな意見を自分の学校でも取り入れて、より良い学校にしたい。
- ・議場で話すのがあこがれだった。
- ・特別感があり、しっかりと話げできた。
- ・緊張感があった。
- ・みんなのことが広く見えてよかった。

岩城議長から

今回は、新型コロナウイルス対策ということで議場を使っていたのだが、コロナウイルスに関係なく、これからも議場を使ってもらえれば、子どもたちにも議会を意識してもらえて良いと思う。

いつでも来てもらいたい。議会はみなさんをお待ちしています。

政務活動費について

○政務活動費とは

地方議会議員の調査活動基盤の確保及び充実を図ることを目的として、平成13年に設けられた「政務調査費」制度は、地方自治法の改正により、平成25年3月から名称が「政務調査費」から「政務活動費」となり、交付目的にも「その他の活動」が加えられ、「議員の調査研究その他の活動に資するため」に必要な経費の一部として交付されることになりました。

滑川市議会政務活動費の交付に関する条例では、対象とする経費の範囲として「調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加等、市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他、住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費」と定めています。

具体的には、

- ・会派及び議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究等に関する経費として、行政視察や現地調

査を行った際の旅費や出席者負担金

- ・会派及び議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費として活動報告等の印刷費

・会派及び議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費等があります。もちろん、その活動内容や充当金額については、社会通念上の妥当性を有している必要があるとともに、市民が十分理解できる範囲に収まるものでなければなりません。また、会派及び議員は自らの責任において政務活動費の支出を行うことから、その内容については市民への説明責任を果たさなければなりません。

滑川市議会では平成29年に、政務活動費の具体的な運用方法について、従来からの運用基準を「政務活動費の手引き」としてとりまとめるとともに、議会ホームページで公開し、政務活動費の透明性の更なる確保に努めています。

○政務活動費の額

交付額等

- ・交付月額 3万円（議員1人あたり）

（平成26年度までは月額2万5千円）

（議員1人あたり）

- ・交付対象 滑川市議会における会派または議員

- ・交付時期 上半期分…4月15日、下半期分…10月15日

○滑川市議会における取り決め

- ・制度の運用については「政務活動費の手引き」に基づく
- ・領収証またはこれに準ずる書類の原本を添付して、収支報告書を提出しなければならない
- ・平成28年度分以降の収支報告については、添付された領収書等も議会ホームページで公開する

○令和元年度実績

- ・交付決定額 4,320,000円
- ・支出総額 3,727,377円
- ・返納額 664,827円

○実質執行率 84.61%

[(交付決定額-返納額)÷交付決定額×100]

※詳細は議会ホームページに掲載

傍聴者アンケートについて

滑川市議会では、平成29年3月定例会から定例会ごとに傍聴された方にアンケートを記入していただいています。アンケートの結果は、議会ホームページでお知らせしていますが、今までの結果について、まとめたものをお知らせいたします。

アンケート実施期間(平成29年3月～令和2年12月までの各定例会において実施)
 総回答数 延べ520人(複数回答や無回答もあるため、各回答の合計とは一致しません)

Q1 性別・年齢

- ・男性 313人 ・女性 144人
- ・10代 46人 ・20代 2人 ・30代 13人 ・40代 29人 ・50代 37人 ・60代 166人
- ・70代 179人 ・80代以上 29人

Q2 議会に関する情報を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

- ・市議会HP 107人 ・市議会だより 184人 ・市広報 241人 ・マスメディア 101人
- ・傍聴ポスター 28人 ・議員から 77人 ・その他 95人

Q3 議会を傍聴した理由をお教えてください。

- ・市議会や市政に関心 287人 ・関心のある議案が提出 114人 ・質問内容に関心 212人
- ・議員の応援 41人 ・知人、友人の誘い 80人 ・その他 66人

Q4 発言の内容についてどう思いましたか。

- 議員の発言 ・大変理解できた 40人 ・理解できた 157人 ・おおむね理解できた 153人
- ・あまり理解できなかった 56人 ・理解できなかった 22人
- 市側の発言 ・大変理解できた 22人 ・理解できた 131人 ・おおむね理解できた 190人
- ・あまり理解できなかった 70人 ・理解できなかった 15人

Q5 議会を傍聴して気づいた点をご記入ください。(自由記述)

- ・一問一答方式はわかりやすかった。 ・難しい言葉を分かりやすくしてほしい。 ・傍聴席が狭い
- ・質問が重複している。 ・議員も、当局も、ゆっくり、はっきりした言葉で進めてほしい。
- ・テレビで見ているよりも臨場感を感じられて良かった。

Q6 今後も傍聴したいと思いますか。

- ・思う 199人 ・機会があれば 186人 ・どちらともいえない 30人 ・あまり思わない 12人
- ・思わない 2人

Q7 議会に期待することは何ですか。(複数回答可)

- ・行政の監視 222人 ・政策提案機能の強化 253人 ・市民との対話 181人
- ・市議会だよりの充実 42人 ・HP等での情報発信 47人 ・その他 8人

Q8 市議会全般について、ご意見がございましたらご記入ください。(自由記述)

- ・実際に見ると、緊張感があって良かった。
- ・もっと前向きの提案をして、市が前向きに進むようプッシュする必要があるのではないか。
- ・市民が関心をもちやすい工夫を。
- ・市民としてこれからも関心を持って議会の傍聴も必要と思いました。

アンケートにご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。アンケート結果を参考に、今後も開かれた議会を目指して、議会改革を推進してまいります。

要望書

件名及び提出者	処理結果
・要望書(5件)	
1 令和3年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い……………	全議員へ参考配布
公益社団法人日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	
2 公共施設等における木材の利用促進について……………	全議員へ参考配布
富山県木材組合連合会 会長 西村 亮彦 外4名	
3 令和3年度滑川市行政施策に対する要望について……………	全議員へ参考配布
滑川商工会議所 会頭 今家 英明	
4 要望書……………	全議員へ参考配布
富山県環境保全協同組合 理事長 廣瀬 淳 外1名	
5 要望書……………	全議員へ参考配布
一般社団法人日本環境保全協会 会長 山条 忠文 外1名	

議場内にアクリル板を設置しました



質問者席



議長席・演壇

演壇、質問者席、議長席に、飛沫防止用のアクリル板を設置しました。今後も議場内では原則としてマスクの着用しての発言となりますが、アクリル板の設置により、これまで以上の感染防止対策強化となることを期待しています。

3月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘要
3月4日(木)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
5日(金)	10時	補足説明
12日(金)	10時	代表、一般質問
13日(土)	10時	一般質問(土曜議会)
15日(月)～17日(水)	10時	予算特別委員会(17日は13時30分)
18日(木)	10時	総務文教消防委員会
19日(金)	13時30分	産業厚生建設委員会
23日(火)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決

〈本年も土曜議会を開催します〉

今回は一般質問が行われます。

なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴席を減らしております。体調の悪い方の傍聴はご遠慮ください。また、マスクの着用にご協力願います。

開催日 3月13日(土) 午前10時～

議会報編集委員会から

滑川市議会は、岩城新議長のもと、新たな体制で新年を迎えることとなりました。

3月には5回目となる土曜議会を開催いたします。多くの方に傍聴に来ていただきたいと思っておりますが、新型コロナウイルスの影響で傍聴席を減らさなければならず、非常に残念です。

ケーブルテレビの視聴でも構いませんので、ぜひ一度議会の雰囲気をご覧になっていただければと思います。

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。

電話 475-2111

(内線371)

【議会報編集委員】

角川真人委員長
脇坂章夫副委員長
大浦豊貴委員
青山幸生委員
浦田竹昭委員
中川 勲委員